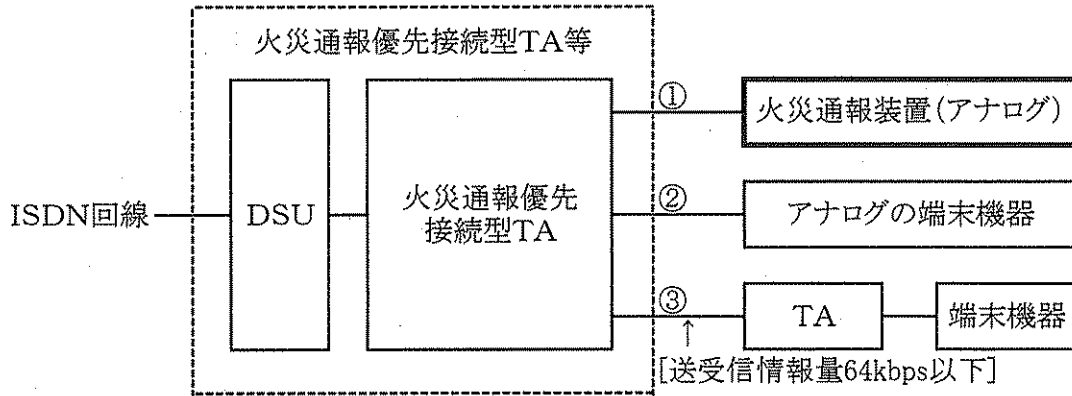


## 火災通報装置とISDN回線との接続例

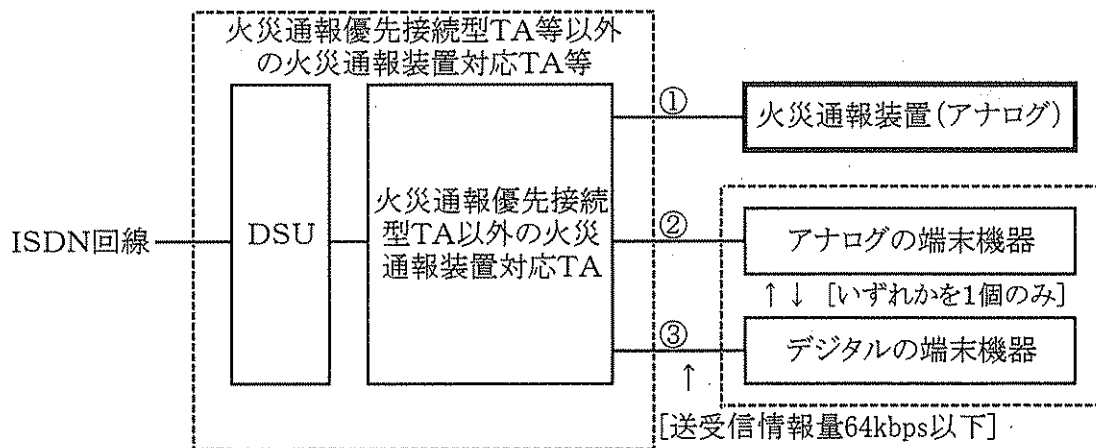
### 【例－1】 火災通報優先接続型TA等を介して接続する場合



※1 火災通報装置は、①(優先接続機能を有するアナログ端末機器用端子)に接続すること。

※2 火災通報優先接続型TA等を介して接続する場合は、②(アナログの端末機器用端子)及び③(デジタルの端末機器用端子)にそれぞれの端末機器を接続しても差し支えない。ただし、③(デジタルの端末機器用端子)に接続するデジタルの端末機器又はTAの送受信情報量を128kbpsとすると、火災通報装置が起動してから通報までに90秒程度要することがあるので、デジタルの端末機器又はTAを接続する場合は、その送受信情報量を64kbps以下とすること。

### 【例－2】 火災通報優先接続型TA等以外の火災通報装置対応TA等を介して接続する場合



※1 火災通報装置は、①(アナログの端末機器用端子)に接続すること。

※2 火災通報装置以外の端末機器は、②(アナログの端末機器用端子)又は③(デジタルの端末機器用端子)のいずれかに1個のみ接続すること。

※3 デジタルの端末機器を接続する場合は、その送受信情報量を64kbps以下とすること。

※4 ③(デジタルの端末機器用端子)には、他のTAを接続しないこと。